


ふりがな	みややまなかざと・くらみかわのぼりいせき	
遺跡名	宮山中里・倉見川登遺跡 (寒川町No.27・70遺跡)	
調査期間	平成16年度～継続中	
所在地	高座郡寒川町宮山・倉見	
時代	弥生 古墳 奈良・平安 中世 近世	
更新日:平成25年7月1日		
調査原因	国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所による一般国道468号(さがみ縦貫道路)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	
遺跡位置	JR相模線宮山駅から北方約500mに宮山中里遺跡、JR相模線倉見駅から南西方約200mに倉見川登遺跡が位置する。	
主な調査成果	宮山中里遺跡では平成24年度、中・近世の調査が行われ、近世の土坑・畝・溝・ピット・整地層、中世の井戸・土坑・畝・溝が発見され、陶磁器・銭貨などが出土しました。倉見川登遺跡では平成24年度、近世と古墳時代の調査が行われ、近世の堤防・畝・溝、古墳時代の古墳周溝、炭化物集中が発見され、土器・土師器・須恵器などが出土しました。	



▲ 近世堤防(倉見川登遺跡)



▲ 中世PC3・4側道地区遺構全景(宮山中里遺跡)



▲ 古墳時代古墳周溝遺物出土状況(倉見川登遺跡)



▲ 古墳時代古墳周溝(倉見川登遺跡)